

第25回全国中途失聴者・難聴者福祉大会報告

堀田正美

〈あなたの知らないきこえの世界〉

2019年11月23日、滋賀県で開催された全難聴福祉大会。私は第一分科会「あなたの知らないきこえの世界～これからのきこえの健康支援とは何か～」に参加した。今振り返るとこの分科会のタイトルは、開催者がそこまで計算していたかどうかはわからないが、問題の複雑さを示していたと思う。

〈技術は進む〉

デジタル技術の発達は人工内耳による聴覚障害の克服の可能性を拓げている。しかしながら、片耳のみ難聴である場合、人工内耳は保険適用にならない。やがては改正されるだろうが、現在、目前の技術の恩恵に浴せない人がいる。

iPS細胞など再生医療の進展にも期待が寄せられているが、まだ未知の分野であり、研究の方向性は見えているが、達成には時間がかかる。それでも技術は進んでいくのは確実だ。

〈社会的障壁を低くする努力〉

見えない障害へ理解を得ることは難しい。特に多数の人で構成される職場では、さらに問題が多様になる。アンケートで、人工内耳装着者へ職場での問題を調査し、職場の関係者・上司に対し問題への対応を問うて、互いの理解を深めることができれている。その成果はまだ見えていない。だが、問い合わせを続けることで何か見えてくるものがあるという期待を込めて、努力は続けられている。

〈けれど、私の心の問題は〉

努力は続く。数値は改善され、支援の方法も見えてくるだろう。だが、心の問題は？

心理的支援として、専門家によるカウンセリング、非専門家（友人・家族など）によるソーシャルサポート、当事者同士による自助グループなどが挙げられた。それらに対して参加者から「当事者同士のみの交流ではキズのなめあい」という状況が起こることがある。やはり専門家がいることが望ましい」という意見が出た。しかし、障害ということを理解できる専門家は少ない。

今回の分科会のパネラーはほとんどが当事者で専門家という立場の人たちだった。以下、私見になるが、「理解できる」とは「当事者である」ということなのだろうか。

「あなたの知らないきこえの世界」というタイトルは、もしかしたら期せずしてこのことを指してしまっているのではないか。「あなた」とは誰なのか。「きこえの世界」とは「聞こえない世界」なのか「聞こえる世界」なのか。「私」には「あなた」のことは決してわからない。研究や事例を集めても、それはあなたのことではない。ことに心の問題は、自分だけの、一人ぼっちの問題だ。支援は支援という誤解かもしれない、支援への期待は過剰なものかもしれない、それを常に心において、少しでもいいほうへ歩み寄っていく以外に方法はない。いつでも最後に思い知る結論に、やはりこの場でも出会うことになったように思う。

第25回全国中途失調者・難聴者福祉大会 2019年11月23日～24日滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海

〈大会要項より抜粋〉

第1分科会：「あなたの知らないきこえの世界～これからのきこえの健康支援とは何か～」

多分野協働研究で話題のメイドインジャパン！新型人工内耳（人工聴覚上皮）の開発の様子、滋賀県での聴覚医療体制の取組をご紹介します。また、難聴者の多くは機能性、心因性といったメンタルな問題を抱えています。実際、補聴器や人工内耳装用においても心理ケアは欠かせません。今回は、遅れがちな難聴者心理支援の在り方についてもお話しをお聞きします。そして、病院の耳鼻科以外のリハビリテーションの現場でも補聴器は大活躍しています。その活用事例などをご報告します。これらの発表をもとにきこえの医療、リハビリの連携強化の必要性を明らかにしていきましょう。また、グラフィック・ファシリテーションの手法も実演、ご紹介します。

その他に

第2分科会：「要約筆記利用ハンドブック」とQOLを高める

第3分科会：「電話で音声認識は使えるの？～文字付き電話の可能性と課題～」

第4分科会：「キャリアアップ」～聴覚障がい者が企業で生き抜く力～

聴覚障害者を含む要配慮者に対する危機管理システムの確立を願って

割山拓身

防災士No.189588

富山県自主防災アドバイザー(7月より予定)

社会的には、「コロナウィルス」の話題一色ですが、私たちの聴覚障害者を含む要配慮者(高齢者・乳幼児・障害者)に対する防災の社会体制は、どのようになっているのでしょうか？危機に関して、どのようなものがあるのか、どのように対処しなければならないのか？を共有しましょう。

危機(Craicis クライシス)には！

- ・自然災害(Disaster ディザスター) 地震動・火山噴火・水害等・暴風・竜巻・豪雨・豪雪雪害
洪水・高潮・地震・津波・火山噴火
- ・大事故(Accident アクシデント) 火災・爆発・交通事故
- ・事件(Incident インシデント) 凶悪犯罪・不祥事
- ・感染症(Virus ウィルス) 新型コロナ・強烈インフルエンザ
- ・テロ(Terrorism テロリズム) 爆破・毒物
- ・戦争(War ウォー) 局地戦・核戦争

まずは、自助(自分の命は自分で守る)：家族と待ち合わせの場所を決めておく

共助(遠くの親戚より、近くの他人が頼れる)：自治会長・民生委員と情報共有

公助(警察・消防・自衛隊は、あてにするな！)：腹が立つだけ！

これを念頭に置いて、日ごろから生活してください。

思い出すだけで恐ろしい「津波」。みなさん、イメージできますか？

東日本大震災の津波！大きさ(高さ)は？ご存知でしょうか？ 答えは、最大40.4mでした。

わかりやすくイメージとして、総曲輪の大和デパートの海拔8m。建物の高さは34mで、合わせても42mですよ。屋上にいてやつとかつと免れるのですよ！

呉羽山の標高は80m。これくらいまで逃げれたら、ほぼ安心！

富山に災害は、迷信の「立山神話」があることで、災害無縁県と思ってませんか？とんでもないです。

弥陀ヶ原(立山)の火山は今、噴火してもおかしくないのですよ！

フォッサマグナという言葉ご存じでしょうか？(糸魚川から静岡にかけての、北米プレートとフィリピンプレートの断層の重なりです)すなわち、きわめて、バランスの悪いところに住んでいるのですよ。

日ごろからしておくことは、

避難訓練を何回もやりましょう。非常用食品は最低家族人数1週間分が必要です。懐中電灯は、家族人數分そろえてください。

さまざまな方が共生するこの社会、健常者目線のルールづくりと同時に、社会的弱者＝要配慮者の存在も念頭に置いた防災体制確立に尽力したいと考えています。

全難聴の正会員

富山中途失聴者・難聴者友の会が、2020年3月27日、一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(全難聴) から正会員として、入会が認められました。入会日は4月1日です。

全難聴は、全国の難聴者・中途失聴者(以下「難聴者等」という)に対する施策の充実普及のための諸事業を行い、難聴者等に対する社会の理解を促進させるとともに、難聴者等のコミュニケーション手段等に関する調査研究等を行うことにより、障害者の社会的地位の向上と福祉の増進及び社会参加の促進に寄与することを目的とし、全国53団体が加盟している組織です。

ヒアリングループシステムによる視聴

2019年11月16日 場所：富山県美術館

富山県美術館の3階ホールでは、企画展にあわせたトークイベントや上映会を開催するほか、体の動きで光のアートを創りだす「インタラクティブアート」を体験できます。その3階ホールではヒアリングループシステムも導入しているとのことで、友の会で視聴してきました。要約筆記者や人工内耳装用者を含めて8名で参加。館長さんをはじめ、富山県文化振興課の複数人から説明を受けました。

視聴者は補聴器に「T」または「MT」のスイッチがあるものに切り替え、スイッチのない補聴器装用者や、補聴器を利用されない方には受信機を借りて視聴しました。

受信する音情報は同時に2種類あり、①マイクからの音声、②音楽CDからの音情報、美術館側で設定されていました。

視聴者の感想

- ・ホール内では受信しにくい場所がある。
- ・館内の音情報がホール内では受信できない。
- ・マイクからの送信者の音声が男性か女性で聞き取りやすさが異なる。

要望したこと その1

- ・ループの表示について、東京国立博物館を参考にしてはどうか。→難しいとの回答。

要望したこと その2

- ・富山県美術館のバリアフリー情報の説明文にヒアリングループの記述を追記できないか。
→数日後、富山県美術館ホームページの「その他の館内設備-バリアフリー情報」で修正済。

ヒアリングループ（旧磁気誘導ループ）

音声信号を電気信号に変えてループアンテナで誘導磁界を発生させて聞くもので、ループアンテナのある設備と磁気コイル付きの補聴器や人工内耳などが必要になります。補聴器や人工内耳の「Tモード」、あるいは専用受信機で、音源の音が直接耳に届くので雑音や余計な残響音が入らないため聞き取りやすくなります。

補聴器などの「T」と「MT」の機能：「T」はテレコイルといわれる機能です。「M」は通常使用しているマイク機能です。「T」にすると補聴器の「M」マイク機能が停止し、磁気ループを通した音だけが聞こえるようになり、周囲の音は聞こえなくなります。「MT」はマイク機能と磁気ループの両方の音が聞こえます。



富山美術館常設展示場では
展示作品の前にあるQRコードを読み取ることで、スマート
作品の詳細説明を文字で表示、音声で聞くことも可能

とみなん No.2 2020/6

編集・発行：特定非営利活動法人 富山中途失聴者・難聴者友の会

ホームページ <https://tominan.org>

メール:kikoe_info@tominan.org

〒939-8045 富山市本郷町60-6